

双葉西小だより

令和5年 6月 7日 文責 学校長 窪田 正幸



第1回学校運営協議会が開催されました

平成24年度より、双葉西小学校は『コミュニティスクール』として保護者や地域の方々とともにある学校づくりを行い、今年度で12年目を迎えます。このように継続して各種事業が進めてこられたのも、ひとえに保護者や地域の皆様方の深いご理解と御支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、本年度の第1回学校運営協議会を5月26日に開催しました。学校経営方針や学校教育支援について審議がなされ、ご承認をいただくとともに、今年度の各学年の活動計画も共有することができました。1年間、学校と地域住民や保護者の皆様方との『ともに学び ともに育つ』信頼関係を深め、知・徳・体の調和のとれた『双葉に育ち 双葉を育てる児童の育成』を目指して取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

なお、4月以降、新たに応援団に加わっていただいた方もおり、大変感謝しております。【双葉のこどもたちのために】ほんの少しでもご支援がいただける方は、双葉西小(28-2016)までご連絡ください。ぜひ、ご協力をお願いします。



令和5年度 双葉西小学校のグランドデザイン

《学校教育目標》

ともに学び ともに育つ

《めざす学校像》

- 豊かで確かな学力をつける[学びがある]学校
- その子のよさを認め、伸ばす[仲間がいる]学校
- 地域と互恵関係にある[地域とともにある]学校
- 子どもの命を守る[安心・安全である]学校

《めざす教師像》

- ともに学び合い、互いに磨き合い、よりよい授業を創る教師
- 目標に向かって創意工夫し、協働する教師
- 子どもの心に寄り添い、支え合う学級づくりをする教師
- 保護者や地域との信頼関係を築く教師
- よさを認める温かさ高い志を求め厳しさをもつ教師

《めざす子ども像》

よく考え 思いやりと しょうぶで
判断できる子ども(知) 感動する心のある子ども(徳) がんばる子ども(体)

《今年度の指導重点》

1 確かな学力の育成

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
学習者を主体とした授業づくりを行い、自ら課題を見つけ、自ら解決に向かう力を高める。
- 「地域とつむぐ授業」の充実
保護者・地域との連携により、多様な他者と協働しながらより質の高い学びを生み出す授業づくりを行う。
- ICT活用
一人1台端末等のICT環境を最大限に生かした授業の充実を図る。

2 豊かな心の育成

- 人権教育の推進
自他を大切にできる人権感覚を、教育活動全体を通じて涵養する。
- 道徳教育の推進
道徳の授業地域公開の実施など、児童の実態や地域の実情を踏まえた道徳教育推進運動を進める。
- いじめ・不登校への対応
関係機関と連携した支援体制の充実・職員の研修機会の確保・SOSの出し方教育に取り組む。

3 健やかな体の育成

- 体力の向上
人間関係づくり等を踏まえた中で、既存の運動機会を、体力の向上につながるよう工夫する。
- 健康教育の充実
感染症への正しい理解に基づき、自ら適切な行動ができるよう、具体的・実践的な指導を継続して行う。

4 地域や世界で活躍する人材の育成

- 伝統や文化等に関する教育の推進
地域との連携などにより、郷土学習を推進する。
- 外国語教育の充実
「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の5領域の言語活動や、パフォーマンス評価を計画的に実施する。

5 特別支援教育の推進

- 専門性の向上
特別支援教育に関する理解の促進と専門性の向上のための研修を位置付け、実施する。
- 教育内容の充実
多様性を認め合える集団づくりのための交流及び共同学習において、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育む。

6 安全・安心な学校づくりの推進

- 安全教育の推進
学校安全計画や危機管理マニュアルの改善を行うとともに、安全教育教材を活用した実践に取り組み、児童が自分で自分の身を守る能力を育む。
- 学校安全の推進
防災行動計画に基づいた防災体制の推進と、保護者・地域との連携強化や連絡体制の整備を進める。

学級経営の充実 【学習活動づくり 人間関係づくり 環境づくり】

コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)

『双葉で育ち 双葉を育てる人づくり』

双葉西小創立150周年

双葉西小学校は、今年で学校創立150年を迎えます。一つの節目を迎えるにあたり、学校では昨年度から、学校運営協議会やPTA代表及び学校職員をメンバーとする【150周年記念事業実行委員会】を立ち上げ、事業内容について検討をして参りました。その結果、「記念誌及び記念品の作成」を進めていくこととなり、計画に沿って作業を進めているところです。

記念誌については、市当局並びに歴代学校長からのメッセージや、「双葉西小の特色」をテーマとしたコミュニティスクールに携わった校長の思い出（対談形式にまとめる）、学校沿革等を内容としています。また、記念品については、児童・校舎の空撮写真や学校生活のスナップ写真等を印刷したクリアファイルを作成します。すでに空撮は終えており、レイアウトを整えて発注する段階となっています。

一方で、子どもたちには5月2日（火）の学校集会（オンライン）で、150周年について話をしました。以下がその話の概要です。

5月11日は、双葉西小学校の創立記念日です。創立記念日とは、人間で言えば誕生日のことです。1873年（明治6年）5月11日にこの学校は誕生しました。年齢でいうと今年で150歳になります。

双葉西小学校ができたとき、名前は双葉西小ではなく、「志田学校」といいました。子どもは全部で40名ほどで、今の双葉西小の近くにあった興禅寺というお寺が仮の校舎だったそうです。それから150年間、名前は何回も変わり、双葉西小学校という名前になったのは今から68年前のことでした。また、お寺だった校舎も、1904年、今から129年前に、今の双葉西小がある場所に新校舎が完成。その後も、新しい校舎に建て替えられ、今の校舎は西館が50年前、東館が43年前に建てられました。

明治37年(119年前)新しい校舎



昭和4年 新しい校舎



今の西校舎
2階建て！



昭和

校庭で牛の品評会

西校舎



運動会の様子



新しい東校舎



体育館・プールが校庭東に



このように長い歴史がある双葉西小学校が今あるのは、150年もの長い間、たくさんの方がこの学校を大切に守ってくれたからです。そして、この先もずっと、この学校があり続けるために、大切に守っていくのは、誰でしょうか。それはここにいるみなさんです。

『学校を大切にする』というのは、掃除をきれいにするとか、物を大切に扱うことももちろんですが、校長先生は“双葉西小らしさを受け継ぐこと”がとっても大切だと思います。その“双葉西小らしさ”とは・・・

- ・明るく、元気で、周りの人たちにとっても優しい子どもでいること。
- ・地域の方と一緒に、楽しい学校をつくること。

だと思います。

これからも、みんなが自分を大切にして、友だちを大切にして、そして地域の方に感謝をして、この学校で過ごしてくれることを願っています。そうすることで、100年先も、この地域で大切にされる双葉西小学校であり続けることができると思います。

全校児童で力を合わせて、さらに素晴らしい双葉西小学校を創っていきましょう。

これからも、【双葉で育ち 双葉を育てる 人づくり】に取り組んでいきます。今後とも、ご支援、ご協力の程よろしく申し上げます。